

## 黒潮パワーの牛深っ子

牛深小学校（牛深町）

6年 石本 宝 たから

ぼくたちの牛深小学校は、昨年から新校舎に建て替えるため、場所を移動し、仮設校舎になっています。体育館がなく、雨の日の体育の授業や学校行事のときには、不便だと思ふときもありますが、そんなときは、牛深小学校の校訓「精いっぱい学ぶ黒潮パワーの牛深っ子」の精神で、気持ちを切りかえてがんばっています。

ぼくたちは6年生になり、最後の小学校生活です。学校行事でも中心となり、友だちと協力することがふえると思います。主体的に考え、自分たちで進んで行動でき、元気よく楽しい学校生活がおくれるように、この1年間を最後までがんばります。



元気よく遊ぶ児童たち

# ぼくのわたしの学校部活自慢



「全校ダンス」最後のポーズきれいにできたよ！

## 分校最後の小運動会

一町田小学校第一分校（河浦町）

3年 池田 藍佳 あいか

5月31日に小運動会がありました。プログラムの最初は、「リゅうじんだいこ」でした。きんちょうしたけど、思いっきりたきました。おもしろかったのは「玉入れ」で、子どもと地域の人みんなで競争しました。とくに心に残ったのは「たいふうのめ」と「全校ダンス」です。「たいふうのめ」では、スタートしたときは同じでしたが、途中は私たちの白が勝っていました。だけど、最後で負けてしまい、くやしかったです。「全校ダンス」は、とってもうまくいきました。こしをふるところは、たくさんのお客さんが笑ってくれ、最後のポーズもきれいにできました。分校最後の小運動会でしたが、とても楽しかったです。

天草町の福連木里づくり振興会では、自分たちが住んでいる地域を知り、住民参加ではなく、住民が主役の取り組みを目ざし、さまざまな活動を実施しています。中でも、地域の特徴をいかした活動として、平成19年度から檜の木などの「炭焼き事業」を行っています。福連木の檜は、江戸時代、幕府の槍の柄木として使われるほど有名でした。山間部にある当地区は、昔からこの檜の木を伐採して炭焼きを行い、その炭を販売して生計を立てていました。私たちは、この炭焼きに着目し、収益事業として年に4回実施しています。



▲窯出した炭を切りそろえる参加者

## 地域づくりコーナー

### 地域の伝統文化を後世に伝える

福連木里づくり振興会（会長 平松和徳 かすのり）

います。毎年11月には、実行委員会を中心に「福連木子守唄&童謡まつり」を開催し、保存・継承に努めています。このように、先人から受け継いだ伝統文化を後世に引き継ぐことが、私たちの使命と認識しています。これからも、住んで良かったといえる地域を目ざして、活動していきたくと思っています。

人が動く  
地域が動く  
天草が動く

## 宝島の健康

# よさげえ

森山 サツキ さん  
（柳宇土町・96歳）



### ◆毎日の楽しみは？

週に2回、市内の福祉施設に通うのがとても楽しみです。皆さんとおしゃべりをしながら、にぎやかな時間を過ごしています。また、天気の良い日は、庭先を散歩するのも楽しみのひとつですね。

### ◆健康の秘けつは？

健康面で心がけていることは特にないです。ただ、家族が円満に暮らしているので、私も心配事など何ひとつありません。そのことが、元気に長生きできている秘けつなのかもしれませんね。



川口 正訓 さん （新和町小宮地・22歳）

# 若っ喝采

JAあまくさ・新和支所に勤務して、今年で3年目になります。現在は、住宅ローンなどの融資を担当しています。趣味は映画鑑賞で、休日は家で邦画を見て楽しんでいます。将来は、すてきな女性と結婚して、あたたかく、幸せな家庭を築くことができたらと思っています。

## 善し悪しを見極める心をはぐくむ

東向寺保育園（本町）

東向寺保育園（岡部守信園長・全園児64人）では、すべきことと、すべきでないことをみずから判断し、行動できる心を養っています。毎日、降園時に1分間の座禅“端座”を行っています。お話をやめる、背筋を伸ばす、腹式呼吸を続けるなどの約束があり、それが守れないと、ほかの友だちも静かに座れません。結果として、場をわかまえる心を会得する機会の一つとなっています。「なぜ、そうしなければならないのか」を卒園までに理解できるよう、日々の保育に心がけたいと思います。

また、たとえ想定外のことが起きても、その場に応じた的確な対応ができる子に育つことを目標に、保育を実践しています。



“端座”をする園児たち

# このゆびとくまれ



EMだんごを手にきれいな川を願う子どもたち

## ほ〜う ほ〜う ほ〜たるこい

城河原保育園（五和町）

城河原保育園（竹林道豁園長・全園児38人）は、“ともに育てようたくましい心と体”を保育の方針に掲げ、日々の保育に当たっています。保育園の一日は『合掌』から始まります。お互いに生かされている者どうし、今日あることを感謝し合って生きることの始まりです。また、開園時から継続している「環境学習の日」として、5月14日に保育参観を行い、親子EMだんご作りに取り組みました。そして、同30日には「ほたる飛び交う、きれいな川になりますように」と願いを込め、保育園前の川へEMだんごを投入しました。これからも「環境」の学習を深め、城河原のすばらしい自然を守り続けていきたいと思っています。

